

## 1. 平成 17 年度（第 29 回）通常総会（平成 17 年 4 月 22 日）

### 1 - 1. 会長挨拶

千葉県環境計量協会  
会長 津上 昌平



只今ご紹介いただきました、当協会の会長を務めさせていただいております、習和産業株式会社の津上昌平と申します。本日の平成 17 年度、第 29 回の通常総会の開会に当り、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はお忙しい中、多数の会員の方々にお集まりいただいております。また、ご来賓としまして、関係団体から(社)日本環境測定分析協会の岡崎様、(財)千葉県薬剤師会検査センターの出浦様をお迎えしております。協会を代表して厚く御礼を申し上げます。

さて本年 2 月に地球温暖化防止に向けて、懸案となっていた京都議定書が発効しました。来年度に予定されている大気汚染防止のため VOC 規制とあわせて、新しい環境規制の枠組みが動き出したところです。また、欧州での製品中の化学物質の規制に関連した、RoHs 指令による成分分析のニーズなど私たちを取りまく環境も目まぐるしく変わってきております。さらに社会的責任を問われる企業倫理、コンプライアンスの問題、個人情報保護を含めた社会環境の問題など、さまざまな環境データを取り扱う事業者として避けて通れない重要なテーマがいくつかございます。今後はこれらの環境の変化に対応して、協会としての活動に取り組んでいきたいと考えております。

当協会は昭和 51 年に創立後本年で 29 年目を迎え、来年 2006 年 6 月で創立 30 周年の節目を迎えます。今年度よりその記念事業の準備を始める計画です。また、後ほど議題の中でもご報告いたしますが、協会活動の PR と会員相互の情報交換をより活発に行うことを目的として、昨年度の年度末にホームページを開設いたしました。今

## 1.0 通常総会.doc

年度はこのホームページを会員の皆様への情報発信に活用すると共に、その他の活動についても一部見直しを行い、今後の協会活動をさらに実のあるものとしていきたいと考えております。そのためにも、協会活動に対して会員各社の皆様のなご一層のご理解とご協力をお願いいたします。

本日はこれより協会規定に基づき第 29 回の通常総会を開催いたします。昨年 1 年間の活動報告、収支決算、本年度の事業計画及び予算案につきましてご審議いただく予定です。本日出席されている会員の皆様からも、協会活動に対してよりご理解いただきたく、活発なご討議と忌憚のないご意見をお願いいたします。

以上簡単でございますが、開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 1-2. 平成17年度（第29回）通常総会報告

千葉県環境計量協会

1. 開催年月日：平成16年 4月22日（金）14：00～16：00
2. 場 所：プラザ菜の花
3. 出席会員：31社（委任状17） 計48社
4. 会長挨拶：千葉県環境計量協会 津上 昌平 会長
5. 議 題：（1）第1号議案 平成16年度 事業報告の件  
（2）第2号議案 平成16年度 決算報告の件  
会計監査報告  
（3）第3号議案 平成17年度 事業計画（案）  
（4）第4号議案 平成17年度 収支予算（案）

総会は、日本軽金属(株)石澤理事の司会で開催され、出席会員の31社、委任状提出17社、合計48社の出席で規約16条により会員数の1/2以上の出席を満たしており、総会は成立するとの宣言がなされた。

- （1）第1号議案及び第2号議案について、(株)新日化環境エンジニアリング内野副会長より説明後、会計監査報告を日建環境テクノス(株)丸山監事より監査報告があり全会一致で承認された。


現在の役員は下記の通り


3月末をもって技術委員長：廣野 耕一氏（(株)住化分析センター）が  
退任され、後任として(株)住化分析センターの村上 雅志氏が就任された。

会 長	：津上 昌平氏	（習和産業(株)）
副 会 長	：菅谷 光夫氏	（(株)ダイワ）
副 会 長	：内野 洋之氏	（(株)新日化環境エンジニアリング）
業務委員長	：藤谷 光男氏	（中外テクノス(株)）
総務委員長	：石澤 善博氏	（日本軽金属(株)）
企画委員長	：堀内 達雄氏	（キッコーマン(株)）
技術委員長	：村上 雅志氏	（(株)住化分析センター）
広報委員長	：吉本 優氏	（(株)環境管理センター）
監 事	：福田 文二郎氏	（JFE テクノリサーチ(株)）
監 事	：丸山 孝彦氏	（日建環境テクノス(株)）

- (2) 第3号議案及び第4号議案について、(株)ダイワ菅谷副会長より説明後、全会一致で承認された。
- (3) 特別表彰  
技術委員長の(株)住化分析センター：廣野 耕一氏が、3月末をもって退任され、多大の貢献に対し、特別表彰された。

以上の内容を全て承認のうえ、第29回通常総会が終了した。

署名人 (株)ダイワ 伊藤 裕 

署名人 日本環境(株) 宮本 敦夫 

## 1－3. 平成17年度 事業計画

多様化する環境問題への対応の一番の基礎となるのが、我々が日々提供している環境計量証明データであり、その重要性は今後益々拡大すると予想されます。

本協会は創立29年目を迎え、来年2006年の創立30周年に向け、会員各社のさらなる結束を固めつつ、業界団体と致しましても、より一層の分析技術の向上、精度管理、信頼性の確保に努力致したいと考えます。また、このような背景から、本年度は次のような事業を行い、会員各社の発展に寄与致したいと思っております。

### 1. 研修会・講演会等の実施

技術の習得や、知識の向上を図るため、研修見学会、講演会等を実施する。

### 2. 技術事例発表会、新任者教育、経営者交流会の実施

技術委員会の下に、計量管理、クロスチェック等のワーキンググループ活動を行い、その研究成果を発表するとともに、会員による測定分析についての技術事例の発表会を実施する。また、経営問題懇談会の主催により、新任者教育、経営者交流会、勉強会を適宜開催する。

### 3. 共同実験とパネルディスカッションの実施

会員相互の技術レベルの向上を図るため、共通試料を用いたクロスチェックを行い、その結果を基に、パネルディスカッションを実施する。

### 4. 情報の収集と提供

官公庁、日環協、首都圏環協連等から関連情報の収集に努め、研修会、会誌等を通じて会員に提供する。また、会員への情報提供、協会活動のPR、会員相互の情報交換のためにホームページを活用する。

### 5. 倫理規定の作成

環境分析の重要性を認識し計量証明事業者としての社会的責任を果たすため、協会会員の行動規範となる倫理規定を作成する。

### 6. 協力関係

千葉県計量協会、日環協関東支部、首都圏環協連等の関連団体の各事業に参画し、技術情報等を収集する。

### 7. 親睦関係

会員相互の親睦を深めるため、ソフトボール大会等の催しを行う。

### 8. 創立30周年記念行事関係

2006年7月の開催を目途に準備委員会を発足し対応する。